



# 巫女の足で 厄を払うマゾの話


CGイラスト 27ページ

とある神社にて



本日は遠方からお越しいただき、ありがとうございます。





僻地にひっそりと建つ  
「くらげ神社」

俺がわざわざここへ  
足を運んだのには理由がある

それは……

本日、厄払いを務めさせていただきます、コハルです。

知っでの通り、  
この神社では巫女と性交して射精するんです  
厄払いとしているの。

少し風変わりだけれど、  
一部界限ではよく効くって評判らしいわ。





そう、この神社の厄払いは  
一風変わったもので、

1年の間に溜まった厄を  
精液とともに吐き出すことで  
厄払いとするらしい

つまりは、厄払いと称して巫女と  
セックスできるってわけだ  
ぐへへっ……

ふんっ、イヤらしい目つきね  
どんな邪なことを考えているのかしら

さっさと厄払いを始めましょう  
ほら、部屋に入って下を脱ぎなさい

。。。。  
っ  
!



ちっ、もう下心に感づいたか。

まあいい。

こちらを睨みつける冷たい目つきが  
逆にそそるじゃないか

俺は案内された部屋に入るなり、  
すぐさまパンツを脱ぎ捨て、  
コハルに襲いかかった……!!



あらら、無様な恰好ね

ぐんぐん...

ぐんぐんぐんぐん



わえ、私を押し倒して  
セツクスするんじゃないの？

巫女に力負けして  
壁と尻の間でサンドイッチ♡

足袋ソックスに大事なちんちん  
閉じ込められながら  
巫女の尻に口づけ♡

ほら、さっさと射精したら？

巫女の神聖な足袋ソックスに  
くっさいザーメン吐き出して  
穢れを浄化したいんでしょ？



コハルに襲いかかったはずなのに  
気づけば尻に潰されて  
脚とセックスさせられている  
自分がいた

女一人に力負けして  
返り討ちにされるなんて……

こんな……  
こんなはずじゃなかったのに……!!



足袋ソックスの中で  
性欲に塗れた変態チニポ  
雑に擦られてご満悦♡

このまま巫女の尻に敷かれながら  
脚にいっぱい種付けしましょうねー

(ああっ、  
コハルの足袋ソックスに  
チンポが擦れて……！)

(こんなセックスやだあ……♡  
いやあ〜ん♡)

がっ

がっ

がっ

がっ

あゝ♡

ちよっ♡

だめ♡

あゝ♡





みっともない腑抜け顔ね

足袋ソックスの中に大事な精液を  
びゆくびゆくお漏らし♡

巫女の脚と念願のセックスができて  
満足かしら？





この女っ……！！

この俺をバカにしやがって！  
こうなったら何と少しでも  
押し倒してやる！

俺はコハルめがけて  
突進を仕掛けた！

はい、捕まえた



びびり!



わえ、自分が恥ずかしくないの？

巫女とのセックスのために  
遠路はるばるやってきたのに、  
気づけば蒸れ腋に顔面潰されて、  
乳首とマゾちゃんギンギンに  
勃たせてイカされ待ち♡

わぁっ♡

ヤッ♡

ミッ♡

ちゅ♡

っ♡

っ♡

っ♡

っ♡

あなた、こんなことのために  
わざわざこの神社へ来たの？



巫女に腋だけで抑え込まれちゃう  
貧弱な身体と、  
みっともなくビニビニに勃った  
ヘンタイ乳首♥

そろそろ気づいた？  
自分がどうしようもない  
ヘンタイマゾだったってこと

女に負ける気持ちよさ、たっぷり分かせてあげる



くそっ、  
どうしてこうなった……？

この女を押し倒して  
めっちゃくちゃにしてやる  
つもりだったのに！

このままじゃ、  
本当にただの  
変態ドM男じゃないか！

ム



イカされる……

またこんなので  
イカされちゃうっ  
♥♥



だっ、ダメだ！  
今日はとにかく  
退散しないと！

俺は一目散に  
部屋を飛び出した！

——が、  
コハルによってあっけなく  
引きずり戻されてしまった

部屋の隅に追い込まれた俺に  
足袋ソックスに包まれた  
コハルの足が迫りくる……！！



はい、  
足とセックス  
続けましょうねー

もわあ...♡

おっ!!

ごっ♡

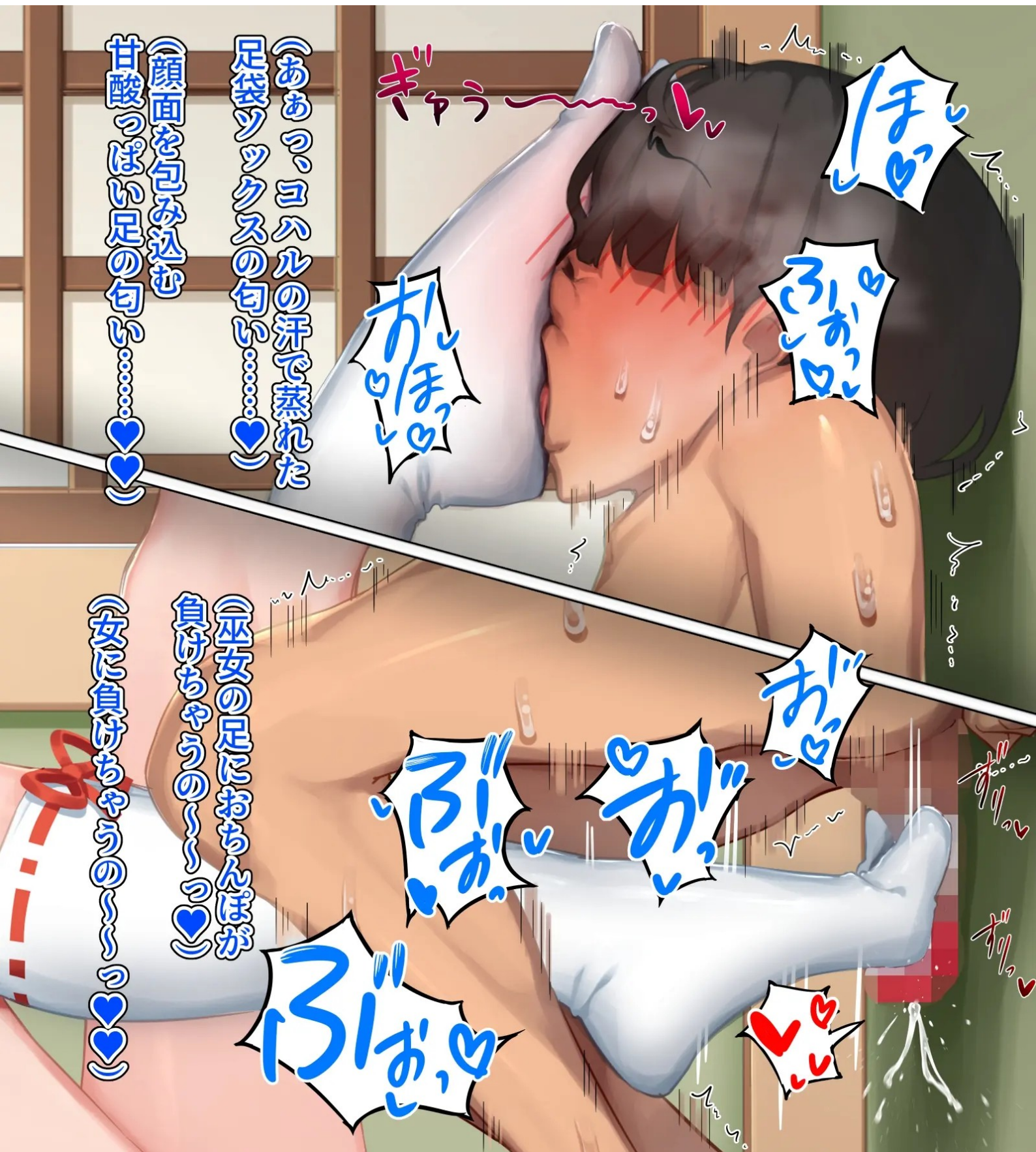
んん

ほーら、  
片足一つで貧弱な身体吊るされて  
変態チニポ踏みつけられる気分は  
どうでちゅかー？

あ、お前みたいなのへんたいには  
ご褒美だったでちゅかねー♡

女に足蹴にされて気持ちいい♡  
巫女の足にザーメニびゅっびゅ♡  
神聖な巫女に負かされて  
マゾ汁びゆるるーん♡♡  
悪い精液いっぱい撒き散らして  
しっかり厄払いしまちようねー♡





ギョウ

ほい

ふい

おほい

おい

ふい

が

ふい

い

(顔面を包み込む  
甘酸っぱい足の匂い……♡♡)

(ああっ、コハルの汗で蒸れた  
足袋ソックスの匂い……♡)

(女に負けちゃうの……♡♡)

(巫女の足におちんぼが  
負けちゃうの……♡)





こうして、  
女に対し威圧的だった彼は、  
正月が明けると、  
憑き物が取れたように大人しくなっていた

それどころか、女を前にすると股間を抑えて  
前かがみになり、腰をカクカクと痙攣させる  
奇行を繰り返すようになったのだった……



葉隠くらげ 著

お借りした素材  
みんちりえ 様  
<https://min-chi.material.jp/>  
みにくる 様  
<https://quunplant.booth.pm/>